

地域ニュース

養父・八鹿小の通学路

「危険な歩道」解消

リニューアル工事完了

養父市八鹿町の市立八鹿小学校の通学路に指定されながら、車が児童のすぐそばを通行するため、長年「危険な歩道」となっていた国道312号・宮越交差点の歩道リニューアル工事が完了した。住民は「歩道の安全性が大幅に向上した」と喜んでい

る。が、県養父土木事務所が安全対策を求める要望書を提出していた。同事務所は30年度から歩道のリニューアル工事に取組んだ。対象は交差点を中心とした八鹿町上網場、下網場区間（450m）

で、道路幅10mのうち歩道幅を2mに拡幅。歩道の段差を解消し、縁石も改めて整備し、11月30日に工事が完了した。事業費は約1億8千万円。地元区長は「これまで歩道が狭くて段差もあり、小学生は大変歩きにくそうだった。今後は歩道の除雪もしやすくなり、安心して通行できる」とコメント。同事務所は「歩道工事の完成で、小学生や病院に通院する高齢者の安全な通行が図れます」としている。

国道312号と県道が交差する同交差点。周辺には市役所や公立八鹿病院などがあり、市中心部の幹線道路として車の通行量が多く、昨年の交通量調査では1日平均約7500台が通行した。

交差点周辺はカーブで見通しが悪く、歩道幅が1m未満のところもあり、登下校の児童が1列になって歩いても車がすぐそばを通行するなど、危険な状態だった。幸い、通学児童が巻き込まれるなどの大きな事故はなかったが、平成29年に地元住民や同校PTAなど



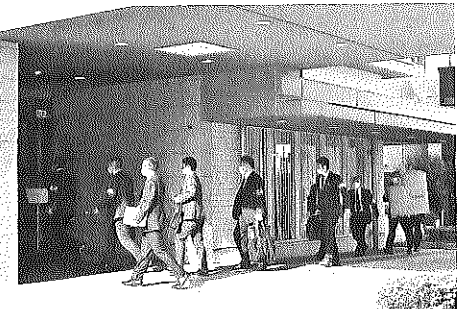
「危険な歩道」が解消された宮越交差点付近
—養父市八鹿町（県養父土木事務所提供）

工事費3.6億円詐取

容疑で2人逮捕 暴力団に流出か

工事費を水増しする手口で物流大手、日立物流の子会社「日立物流西日本」から約3億6500万円をだまし取ったとして、県警暴力団対策課などは、詐欺の疑いで建設会社の元社長、鹿野村昭博容疑者（50）と大

阪市此花区春日出北と、日立物流西日本の元社員、加地伸哉容疑者（48）と大阪府茨木市郡を逮捕した。逮捕は6日付。速捕容疑は、共謀し平成28年〜令和2年、下請け工事の作業員数を水増しした請求書を提出し、日立物流西日本から約3億6500万円をだまし取ったとしている。



日立物流西日本に自宅捜索に入る県警の捜査員（大阪此花区）

県警によると、鹿野村容疑者が経営していた建設会社が、日立物流西日本から駅のホーム柵の設置工事などを受注。同社側の担当者に加地容疑者だった。工事代金計約3億6500万円のうち1700万円以上が水増し分とみられる。

鹿野村容疑者は暴力団関係者とみられ、県警が、だ